

第 8 8 6 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 3 年 6 月 2 8 日（月） 1 5 : 0 0 ～

場 所 益田市立市民学習センター 研修室 2 0 3

益田市教育委員会

第 8 8 6 回 教育委員会定例会

招集年月日 令和 3 年 6 月 2 8 日（月） 1 5 時 0 0 分～

招 集 場 所 益田市立市民学習センター 研修室 2 0 3

※教育委員はリモート参加

議 事 日 程

第 1 会議録の承認

第 2 教育長報告

第 3 議題

議第 9 号 教育財産（旧益田東中学校敷地）の用途廃止について

議第 1 0 号 教育財産（旧宇津川団地教員住宅敷地）の用途廃止について

報第 2 4 号 令和 3 年度（令和 2 年度事業分）益田市教育委員会事務事業点
検評価及び令和 3 年度目標設定 について

報第 2 5 号 益田市立図書館協議会及び図書等選定委員会任期満了に伴う委
員の委嘱について

第 4 その他

(1) 情報提供

- ・給食における食中毒防止強化の取組について

(2) その他

出席者

教育委員会

教 育 長	高 市 和 則
教 育 委 員	村 上 三 恵 子
教 育 委 員	中 野 純
教 育 委 員	梅 津 富 美 子
教 育 委 員	大 庭 隆 志

事務局職員

教 育 部 長	野 村 美 夜 子
ひとづくり推進監	大 畑 伸 幸
教 育 総 務 課 長	長 嶺 勝 良
学 校 教 育 課 長	田 原 啓 文
学 校 教 育 課 参 事	松 元 善 生
文 化 財 課 長	山 本 浩 之
人権・同和教育推進室長	岡 崎 勝
美 都 分 室 長	田 中 一 史
教 育 総 務 課 長 補 佐	齋 藤 勝 義
教 育 総 務 課 主 任 主 事	岩 崎 俊 也

高市教育長 ただいまより第８８６回益田市教育委員会定例会を開催いたします。
それでは、議事に入らせていただきます。

第１ 会議録の承認

高市教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第２ 教育長報告

高市教育長 次に進みまして、第２の教育長報告でございます。前回の教育委員会からの活動状況でございます。

まず、６月１日でございますが、益田市小・中学校教頭会がございました。こちらで冒頭ご挨拶をさせていただいたところです。

あと、６月１１日から６月の議会が開会されました。議会の関係で先に進みますが、６月１８日から２１日、２２日と議会で一般質問がございました。一般質問につきましては、私が着任をしたということもあり、益田市等の感想や幾つかご質問がありましたので、後ほど会議の議事録等をご確認いただければと思っております。

６月１３日でございます。こちらは益田市の青年会議所ですけれども、キミの未来は希望の光！絵画コンテスト授賞式がございました。こちらに出席をさせていただきまして、教育長賞等を授与させていただいたところです。益田市、吉賀町、津和野町の小学生が絵を描いて、それを出品されていたというものでございます。

６月１５日でございます。益田地区公民館連絡協議会がございました。こちらで冒頭、挨拶をさせていただきました。

あと、本日でございますが、この会の前、午後ですけれども、委員の皆様にも見学をしていただいた中西小学校の校舎改築期成同盟会から備品の寄贈をいただきました。今回は、多岐にわたりますけれども、例えば給食の配膳台や、加湿器、また今年からタブレットを１人１台配られておりますけれども、その充電保管庫です。あとは小学校で外国語活動として外国語の授業が行われております。その際、使用されるいわゆる４線ですね。４つの横線がある、文字の大きさとか高さが分かりやすくできるというようなボードをご寄贈いただきました。こちらは、市長と私と教育部長で出席をさせていただきまして、期成同盟会の会長から市長に目録贈呈という形で式が行われたところです。

教育長報告としては以上でございます。この件についてよろしいでしょうか。

教育委員 ＝全員了承＝

第3 議題

○議第9号 教育財産（旧益田東中学校敷地）の用途廃止について

高市教育長

それでは、これから第3の議題に移らせていただきます。

議第9号教育財産（旧益田東中学校敷地）の用途廃止について、事務局より説明をお願いします。

長嶺課長

それでは、議第9号ということで、教育財産の用途廃止について提案をさせていただきます。お手元の資料をご覧ください。

資料の写真を見てください。昔、益田東中学校の体育館が建っていた土地です。この赤く囲った部分について、5月6日に、電話で住宅が建設できる宅地として利用を考えてみたいという問合せが入りました。対象物件につきましては、875平米、学校用地と書いています。物件の概要については別紙がついておりますので、ご覧ください。この部分について、今後は教育財産から落としまして、普通財産という形で売却に向けて動きたいということです。

昔、益田東中学校、今の体育館が建つ前に、ここに体育館が建っていたということと、島根県が土地を買収されて、益田種三隅線という大きな道路を造りました。その残った部分を売ってほしいという方がおられるので、これを今、不動産鑑定を取っている最中です。これを、不動産鑑定の価格を最低にして、一般競争入札で金額が高い方へ売するという流れです。たくさん購入希望の方がおられるかどうか分かりませんが、そういった手続を取っていききたいという考え方で今います。

そのためには、まずもってこの教育財産という部分の位置づけを落とすという作業が必要になります。それに伴いまして、教育委員会で教育財産としての用途を廃止するというものについて議論いただけたらと思います。

説明は簡単ではありますが、売却に向けて動いていきたいという事務局からの提案です。

大庭委員

その購買用地ですが、これは昔、丸い円形の屋根があった体育館の跡地ですか。

長嶺課長

はい。丸い屋根があった体育館の跡地です。

大庭委員

それで、中学校でイベントとかをやる際に、駐車場の確保とか、いろいろな部分でこういう場所は使うと思うのですが、もしあれば大変助かるよというような跡地ではないということと考えると大丈夫でしょうか。

長嶺課長

益田東中学校にも確認しました。写真では車が止まっていますが、これは実は学校関係者や近所の方が止めておられるというようなこともあります。学校としていろいろなイベントがあっても、ここに車を止めるというようなことはないので、学校側とも話ししておりますので、その点は大丈夫だと思っています。

大庭委員

分かりました。

村上委員 当面活用する予定もないこうした跡地は、市の財産でもありますので、それを有効活用するという意味では賛成をいたします。そうした中で、ちょうどここを私はたまに通ることがありますが、看板があるところですね。「益田東中学校こちら」のような表記がされた看板があるところになるので、この土地を処分した後の入り口の表示も検討していただけたらと思いました。この案件については、私は賛成をしております。

長嶺課長 先ほど少し言いました、益田東中学校の進入路の工事を今新しくしていきますので、今後メインの入り口は、この写真の右上のほうから道路をつけて入ってくるような形になります。今入っている道は徒歩ですね。あと自転車を押して入るというような類いのものになるので、表示はします。今もここに卒業生が造った校門などもありますので、そういったものも活かします。あと新しい道路の手前にも益田東中学校入り口というような看板を造ろうと思います。

村上委員 ありがとうございます。
高市教育長 それでは、この件について承認いただけます方は挙手をお願いします。
教育委員 =全員挙手=
高市教育長 挙手全員ということで、承認されました。

○議第10号 教育財産（旧宇津川団地教員住宅敷地）の用途廃止について

高市教育長 それでは続いて、議第10号教育財産（旧宇津川団地教員住宅敷地）の用途廃止について事務局より説明をお願いします。

田中分室長 それでは、議第10号教育財産（旧宇津川団地教員住宅敷地）の用途廃止について説明させていただきます。

この旧宇津川団地教員住宅というのは、旧二川小学校の前の敷地ということになっております。写真と図面が入ったもので、最初に説明をさせていただきます。

ここに、No.1、No.2、No.3と番号が振ってあります。No.1の部分につきましては、昨年の令和2年3月に諸手続を行いまして、土地、建物につきましては、今、公募を行っているところであります。残りのNo.2、No.3につきましては、学校の用地ということで、現在も残っているところであります。

このたび、右側のほうに宅地の図が描いてあると思いますが、もう一枚はぐってカラー刷りのほうを見ていただきまして、この家に住んでおられる方が、隣接する学校用地につきまして、購入したいという問合せがありましたので、ここが今、学校用地ですので、これを今回、用途廃止のご承認をいただきまして、普通財産に変えていきたいということでもあります。現在、予定されているのがNo.2-1、3-1というところを欲しいという

ところで伺っているところでもあります。

売却の方法といたしましては、今、随意契約を考えております。この住んでおられる方の場合、現在生活の領域ということになっておりますので、ほかの方が買われると、生活する上で大変なことになるということなので、今回は随意契約でいきたいと考えております。

繰り返しになりますけども、今後の予定につきましては、今回の教育委員会におきまして用途廃止、それから財産の移管の承認をいただきまして、普通財産への移管手続、それから売却に向けた手続を速やかに行いまして売却したいということでもあります。以上です。

高市教育長
教育委員
高市教育長

それでは、この件について承認いただけます方は挙手をお願いします。

＝全員挙手＝

挙手全員ということで、承認されました。

○報第24号 令和3年度（令和2年度事業分）益田市教育委員会事務事業点検評価及び令和3年度目標設定について

高市教育長

続きまして、報第24号令和3年度（令和2年度事業分）益田市教育委員会事務事業点検評価及び令和3年度目標設定について事務局より説明をお願いします。

長嶺課長

先月、益田市の令和2年度に行った事務事業の点検・評価のほうで、素案というものを皆様に見ていただいて、いろんなご意見をいただきました。誤字脱字等も、改めてまた委員の皆様にお伺いして、直したところもあります。

お手元の資料で、網がかかったところが今回修正をさせていただいた部分です。主なところだけ、説明をさせていただきたいと思います。誤字脱字は大変すいませんが説明を割愛させていただきます。

4ページ目の下段のところをご覧ください。ほぼそのまま付け加えさせていただきました。ご意見があったのは、C評価としたものが非常に多くあるという部分で、例えば益田版のカタリ場は、令和元年度についてはA評価でした。こういった部分、A評価ではあったのですが、いわゆる参集型、人が集まってやるという部分の事業について、今回、新型コロナウイルスというようなことを含めて、活動が制限される中での結果であったという部分です。手を抜いたとか、そういうことではなくて、それまでA評価だったものが、人が集まってやるということの難しさの中でCという評価を下したという理由を加えさせていただきました。

続いて、6ページの中段のところ。「学校は楽しい・好きである」という意識調査の結果について、学年比較をしておりましたが、ここはきちんと経年で比較をしたほうがよいという意見をいただきましたので、経

年比較の記述に変えさせていただきました。「学校は楽しい・学校が好きである」という意識調査について、中学校1年生になるとマイナス5.3%、6年生のときは高かったが、中学校になると下がるということが、ここで数字としてきちんと分かります。

併せて、同じように「話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という部分についても、中学校1年生になると△の13%ということで、学校が変わって、新しい学年、1年生になったとき、非常に大きな、いろいろな影響が出てきたということが、見てとれるような形で整理をしている状況です。

続きまして、10ページ目の中段のところに、家庭生活における家庭内でのメディアの関わり方というものです。この中で、先月ご意見をいただいたのは、全国の事例などを研究し参考にしてはということでした。そういったところで、全国の事例の研究とともに、今後どうしていくかということに記載させていただいたというところであります。

あと、細かく網がかかっているのは、誤字脱字等を訂正したという部分です。簡単ではありますが、先日、いろいろなご意見をいただいたところ、ある程度整理をさせていただいたということになります。

令和2年度の部分については以上であります。

それでは続きまして、先ほどの事業の評価をもって令和3年度、どういう目標を立てていくかという部分について、お手元の資料をご覧ください。

令和3年度の事務事業につきましては、全部で重点項目を8つ掲げました。一番、表の上にあります学力育成を支えるための施策の推進～学び続ける子どもの育成～と記載してあります。この一番上に掲げた重点項目というものが全部で8つあります。

その次、その2つ下に、評価対象事業ということであります。評価対象事業というのが、それぞれこういった事業を評価しましょうという部分になっております。それが全部で14の事業があります。最初でいうと、評価対象事業は、確かな学力の向上と子どもの可能性を伸ばす個別最適化の推進ということの評価対象事業に考えているという、この評価対象事業が全部で14事業あります。

その次です。評価対象事業の目標、先ほどの評価対象事業を掲げて、何を目標とするのかという部分です。目標とする部分は全部で50項目あります。例えばここで言うと、①番、週1回以上の授業での活用、小学校95%、実績はこうでしたという部分を目標として掲げています。

こういったことの中で、今回、特徴的に新しく出てきた部分がございます。3ページをご覧ください。この間、市長ともいろいろな意見交換なり、総合教育会議で議論いただきました。益田市型中高一貫教育実現に向けた部分のフォーラム開催ということの評価対象事業で掲げております。それ

を開催することによって理解を促進しようということを目標として掲げているという部分です。

今回、これだけの目標を掲げた中身につきましては、皆様のお手元にある、益田市がこのたび第6次総合振興計画というものをつくりました。3月に作成しまして、これに基づいて今後5年間、いろいろなものに取り組んでいきたいと思いますというものを掲げ、この中で教育委員会に関わって出てくる案件が、ここで言う評価対象事業の目標という部分になっています。その中で掲げたことが、全て出てくるという形になります。こちらは、令和7年を最終目標にして、目標に向かって進めていこう、令和7年を目標にするに当たっての令和3年度の第1回というのが、今お手持ちで皆さんに見ていただいているもので、計画を立てて取り組んでいく形にしております。

全体で、この目標というものを、最初は50項目にしました。ちなみに、令和2年度は、この目標が幾らあったかという73項目ありました。この73項目、1つ上の評価対象事業が14事業と言いましたが、令和2年度は35事業ありました。約半分以下に絞らせていただいたのです。絞って落としたものはやらないのではなくて、およそこの計画に基づいているような取組をしていくと、こういった形で進めることができるかという部分です。

昨年度、外部評価委員からも、「何でもかんでも上げればよいというものではありませんよ」という意見もいただきましたので、そういう中で改めて教育委員会として重点的に取り組むという部分がこの計画の中に載っております。これに基づいた令和3年度の目標を立てたという形になっている状況です。

簡単ですが、説明に代えさせていただきました。ご一読いただいていると思いますので、いろいろなご意見がありましたら、またお伺いしたいと思います。

高市教育長

そうしましたら、まずは令和2年度の事業分の評価について、その後に令和3年度の事業目標についてご意見いただければと思っています。まず、令和2年度事業分の評価についてご意見等ございましたらお願いいたします。

大庭委員

少しちょっと細かいことになりますが、5ページです。先ほどの長嶺課長が説明された網かけのところのもっと下ですが、さらにというところからです。さらに、学年ごとの島根県平均との比較をした場合云々とあるのですが、その行のそのすぐ下、「中学校2年生の国語、数学、英語において」とありますけども、これは中学「1年・2年」ということで、1年生が抜けておりますので、これを入れなければならないのではと思います。2年生だけになっていますので、1年生も入れてください。

それから、2点目ですが、資料の資料編を見ていただきたいのですが、この、めくって進捗率評価点及び達成率評価点、自己評価点数の出し方という部分を1ページにまとめた説明書があります。ここでまず1点目ですが、1番の進捗率評価の説明の中で、「評価対象事業目標の達成に向けた取組状況を項目数ごとに評価します」とありますが、これを読んだときに気になったのは、「項目数ごとに」という言葉が少しのみ込みませんでした。その後、達成率評価で、3番に書いてありますけども、こちらの文書を読んだら、やはり表現を統一したほうがいいのではないかということに気がつきました。つまり、進捗率評価の1番ですけども、こちらの「取組状況を」の後ですけども、「項目数ごとに」という言葉をカットして、それに換えて、ここを「取組状況を進捗率として評価します」という言い方にしたほうが、達成率評価目標の表現と整合できるのではないかと思います。ですから、できれば、「評価項目ごとに」ということをカットしていただいて、進捗率として評価しますという言い方にしたほうが、ずっと頭に入ってくる気がいたします。

それから、これは、説明が少し詳しくなるのですが、この説明書を読んだときに、自己評価の出し方というのが5番に出ておりますけども、その中で、自己評価の欄のAランク、あそこが200.0点以上とあるのですが、この「以上」という言葉が私は引っかかりました。というのは、達成率評価点というのは、16点を分母として計算しておりますので、そうすると100点が最大となるのですが、進捗率評価点のほうは、12点を分母として計算しておりますので、100点以上の数字が出てくる場合が考えられると思います。したがって、両方の評価点を合計した場合に、達成率評価点が100点以下であっても、200点を超すケースが出てくる場合が考えられると思います。ですから、もし進捗率評価点が100点以上の数値となった場合は、全て100点とすることを明示する必要があるのではないかと、この文書を読んで思いました。

私がそのように思ったのは、実際に次のページに、益田市教育委員会事務事業別点検・評価シートというのが出ています。これの最初のところを見てください。最初の部分、学力育成を支えるための施策の推進が重点項目になっておりまして、例えば評価対象事業は、教職員のICT機器活用率というのがあります。ここを実際に見たときに、評価対象事業目標というのが4つあります。例えば進捗率の評価点をこの説明書に基づいて計算してみました。そうすると、まず①番の事業目標については、これは2点です。②番は4点です。③番は4点です。④番は4点です。そうすると、この進捗率評価点においては分母が12でありますから、分子は14になります。つまり、12分の14という分数になります。これを割り算しますと、116.7という数字が出てきます。

それから、達成率評価点のほうですけども、こちらのほうは4つの項目ということで点数を出しますと、①番が3で、②番が4、③番が4、④番が4になります。ですから、分子は全部で15になります。分数で出しますから、今度は分母が16ですから、16分の15です。これを表しますと93.8という数字になります。

つまり、私が言いたいのは、進捗率評価点のほうです。これが100を超えている、116点もあるわけですけども、100以上ですから、ここは100.0となっています。ですから、この100.0と93.8を足しますと、自己評価は193.8点ですが、当然B評価の、目標には届かないが高い成果があったとなると思います。これは、これをそのまま、100点ではなくて116.7でもし計算したときには、これが210.5になるわけです。そうすると、自己評価がBではなくてAになります。こういう矛盾が出てきます。

実際に、後ろのほうのページをはぐっていただきたいのですが、今のページからさらに2ページ後です。学力育成を支えるための施策の推進のところで、評価対象事業が、各校の学力育成に係る取組の向上・充実というのがあります。ここを見ますと、ここはいわゆる事業目的としては1点だけ出てきます。ですから、進捗率評価点と達成率評価点を見ますと、これは進捗率評価点というのは、分数で言いますと、3分の4です。ですから、これは133.3です。達成率評価点は4分の4です。ですから、これはちょうど100.0でいいです。ところが、その133.3ということは、100点以上ですから、気を利かせて100.0で表現しておりますね。ですから、これは、両方足せば200点になりますから、自己評価はAでいいと思います。

ところが、例えば、教育と子育て支援の一体化というのが重点項目で出てくるところがあるのですが、ボランティアハウスと放課後児童クラブの一体的運営を推進するというのがあります。そのところを見ますと、事業目標は3つあります。それに対して、進捗率評価点と達成率評価点を見ていきますと、これはどちらも100%以上の数字で出ています。実際に、例えば進捗率評価点を見ますと、これを点数化してみましたら、これは9分の11になります。9分の11ですから、122.2になりますので、これはよろしかろうと思います。その次に、結局これは今言いましたように100%以上出ていますから、そのまま100以上の数字を示しておられます。ですから、評価によっては、128出しておれば100でそろえておるところもあれば、そのままの数字として出されているところもあります。

さらに、ふるさと教育の推進というところを見ていただけますでしょうか。ここの目標の、歴史文化を活かしたまちづくりの推進の下の評価対象

事業が、益田市歴史文化基本構想というのがありますね。このところの事業目標が2つあるのですけれども、これはいわゆる評価点といたしましても、進捗率評価点の場合には、これは実際に計算すると6分の6です。6分の6はつまり100だと思うのですが、なぜか116.7になっておりますけど、仮に116.7とプラスで出した場合、進捗率評価点は100を越していますからいいのですが、達成率評価点は62.5です。それで、これを足しますと179.2になります。したがって、自己評価はCになりますけれども、もし仮に、あと0.8点あれば自己評価はBになるわけです。つまり、100点以上の部分で、100点以上進捗率評価点がある場合に、そのまま100にならないで使っていたものをそのまま出しますと、仮に達成率評価点というのがかなり低くても、200点いくおそれがあります。そうすると、当然、達成率評価点がかかなり悪くてもA評価になります。今説明しましたが、要するに私が言いたいのは、進捗率評価点が100点以上の数値になった場合は、全て100点とする、上限を切るという形でやったほうがいいのではないかと思います。以上です。

長嶺課長
中野委員

いただいたご意見について検討します。

令和3年度の益田市教育委員会事務事業目標のことなのですが、照らし合わせをしまして、令和3年度（令和2年度事業分）も見ていただきたいのです。まず、点検・評価報告書の3ページをご覧くださいながら、令和3年度の事務事業目標のすり合わせをしたいと思います。

評価対象事業というところが大きく7項目があるわけですが、その細かなところがあるのですけれども、今回、令和3年度の事業目標のところの、まず1ページです。取組方針が大幅に変わってきておりまして、ほかのところもところどころ変わっているようなのですが、そのあたりが評価対象事業として大まかにどういうふうな形で進める中で、取組目標がこのように変わってきたのかということが分かれば、教えていただきたいと思います。

長嶺課長

取組方針の基準です。これを先ほど、令和3年度、この継続に基づいてということをお話させていただきました。この中に、やはり取組方針という言葉が出てきます。お手元にはないので、また見ていただけたら分かるかと思います。例えば、48ページのいろいろなページで教育に関わるような内容が出てきます。この中に、やはり取組方針というのが出てきます。これは全部文章で記載してあります。この部分で該当するところを、この文章をそのまま令和3年度は取組方針の中に記載をさせていただいた。あくまで今回、令和3年度からこの総合振興計画に沿った形のものということで事業目標を立てておりますので、ここで言う取組方針というのは、総合振興計画に出てくる取組方針と同じものにしてある。同じ表現で同じ文章にしてあるということで、こっちを見てもお手元の資料を見ても、これ

はこういうことだと分かるように整理をさせていただいたところです。

中野委員

ありがとうございました。第6次益田市総合振興計画に沿ってということとよく理解しましたので、ありがとうございました。

大庭委員

このたび重点項目が7項目から8項目、それから取組方針が9項目、それから評価項目が14項目ということで、点検評価シートはかなり整理されたと思いました。特に、取組方針については、内容がより分かりやすくなっていると思います。

確認ですが、ライフキャリア教育・起業家教育の人材の育成というのが後ろのほうのページにあらうかと思いますが、5ページ目ですね。こちらは、シートとしては2つありますけども、やはり「事業成果」と「改善事項又は課題」というのが下の左側にあります。それから右側には「今後の方向性」、それから「その他参考となるべき事項」ということでありまして、要するにこれは2枚でもってワンセットとして考えてよろしいのでしょうか。

長嶺課長

はい、そうです。

大庭委員

自己評価について、1つだけ右側のほうに示されておりますので、その辺はいかがでしょうか。

長嶺課長

目標が全部で8つあると捉えていただいて結構です。全部で、1つの事業の中に目標が8つあると取っていただいて結構です。2つで1つです。

大庭委員

分かりました。

高市教育長

ほか、何かございますでしょうか。もう令和3年度の目標についても話が出ておりますので、そちらも併せて何かご質問、コメント等あればお願いできればと思います。

梅津委員

令和3年度の2ページでございます。学力育成を支える施策の推進というところの評価対象事業の目的というところですけども、よくあるいじめの未然防止の基盤となる児童・生徒と教職員の信頼関係を確認するというのが、よく出ていますが、確認というのはなかなか難しいと思うのですけども、私は先生と生徒との関係もしかりですが、その児童がよき友を持っているとか、友人関係とか良好なのか否かとか、そういうところも含めて大切なのではないかとことを思いますし、信頼関係を確認するというのはどういう具体的なことをされるのでしょうか。結構難しさを感じています。

松元参事

まず、教職員との信頼関係を確認するという点につきましては、こちらの事業の目標の中に、県の学力調査とか、全国学力調査の指標を上げておりますが、一応大切にしたいこととしては、先生は私のことを気にしてくれているということで、先生は子どものことを気にしているということ、子どもは感じ取っているだろうというところが、子ども自身の評価として出てくるかどうかというところでまず上げております。

それから、部活や学校が楽しいということに関しては、先生と子どもの関係だけではなく、それを含めた学校全体の活動、または友達との関係、もしくは教師と子どもの関係というものを含めた学校は楽しいということを感じているかどうかというところを上げました。

そして、ご指摘の友達同士の関係性というものも、もちろん大事だと思いますけども、今回の指標という目標に関しては2つ上げさせていただきましたが、日常の活動におきましては、学校の職員、担任、教科の指導者は、常に授業とか、休み時間とか、学校活動においては友達同士の関係がどうかというところを含めて指導しております。ですから、そういったところも含めて、決して考えてないということではないのですが、指標としてはこういうことを上げたということで考えております。

梅津委員
村上委員

よく分かりました。ありがとうございました。

私は、令和3年度の事務事業目標についてです。3ページのところに、益田市型中高一貫教育に向けたフォーラムの開催という、1つ項目が、このページがあります。非常にこの中高一貫教育に関しての市民計画であるとか、またその狙いについて、広く市民の方に理解をしていただき、それを進めていくというものであらうと思うのですが、そのフォーラムが何をとか、また誰の理解を深めようとしているのかとか、具体的などころをしっかりと煮詰めての、ただ開催すればいいというものではなくて、やはりその先にあるものをしっかり見据えながらこのフォーラムを開催していくということが非常に重要になるのではないかと思います。それに当たっては、十分事前に、様々な方々との意見交換も必要でもありますし、どのようなフォーラムを開催するのかとか、また誰に一番理解をしていただくのかというようなところも十分協議をした上で、こういったまた事業に取り組む必要があるのではないかと感じながら見させていただきました。よろしくお願いします。

松元参事

この益田市型の中高一貫教育の実現に向けたフォーラムについては、先ほど、委員さんのご指摘のとおり、今、どういったことを見据えてやるのか。または、誰に聞いていただくのかということを含めて、いろいろな関係者の方と協議を重ねながら、それを明らかにするということが非常に大事だと考えております。ただ、今、この場でこれというものはまだ、正直に言って明確なものはお伝えできないということがありますが、それを今後明確にしながら、皆さんとともに考えて、益田市に適した一貫教育について模索していきたいと考えております。引き続きご意見等、よろしくお願いします。

村上委員
高市教育長
教育委員

ありがとうございます。よろしくお願いします。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

＝全員了承＝

○報第 25 号 益田市立図書館協議会及び図書等選定委員会任期満了に伴う委員の委嘱について

高市教育長 それでは続いて、報第 25 号益田市立図書館協議会及び図書等選定委員会任期満了に伴う委員の委嘱について事務局より説明をお願いします。

大畑推進監 まず、ご報告が遅くなりましたことを、おわび申し上げます。図書館協議会、この新しい方たちを入れて、5 名で動きたいと思っております。

これまでは、図書館を多くの方たちが、ただ本を読みに来るということではない取組をやってまいりました。その総決算ということで、さらなる市民が自ら図書館を活用したり、または本を活用しながら人が集ったりということまでの活動をすることで、図書館というものの可能性を広げていきたいと思っております。それにふさわしい方たちをこの度は選任をさせていただきました。もう一つは、学校の図書館と市立図書館、できる限り一体化しながら、効果的な図書の貸し借り等ができるようなことを、現在ブックファースト事業でしております。そのことで、学校の先生方にもしっかり入っていただきながら、学校図書館、市立図書館の一体化を目指すようなご意見をいただこうかということで選任をさせていただきました。

例年は、益田市読書感想コンクールの審査も委員の方にさせていただいておりました。しかしながら、今年度から、学校教育研究会の国語部会の先生方が、県の読書感想文コンクールの審査を 1 日かけてやられます。その日に、併せて市のコンクールに応募した子どもたちの審査もしてくださるということで話がまとまりまして、委員の皆様にも過度の負担をかけないような形でこのたびは選任をすることができたということも併せてご報告します。図書等選定委員につきましては、引き続きこの 3 名の方に担っていただくということで考えております。

議会でも非常に話題になりました、地域丸ごと図書館という仮称ですが、匹見小・中学校の校舎の図書館を、匹見図書館と市立図書館と一体的にやって、保育園児から高齢者まで集えるような場所にしたらという構想が出ておりますので、この選定委員の方にそういった場合の場所における本の選定も、今回ご協力いただこうということで、一体的な会議をしながら、匹見で新しい小中一貫一体校舎の中での図書館造りというところを、市立図書館、学校図書館、一体となって造るということをするためにも、選定委員とまとめて、このたび報告させていただき、来年度に向けてしっかりと道筋をつけたいと考えているところです。以上です。

高市教育長 それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

高市教育長

それでは、以上をもちまして定例会を終わります。

次回は7月29日の9時30分から定例教育委員会を開催いたします。
次回の7月29日につきましては、久しぶりでございますけれども、基本
参集という形で開催し、何かあればウェブ開催ということでご承知おき
いただければと思っております。それでは以上で定例教育委員会を終了
いたします。ありがとうございました。

＝終了時間 16時10分＝